

## 第二回 AVeC study 基礎解析グループ会議 議事録

日時 平成 27 年 12 月 25 日(金) 15 時 30 分—18 時

会場 奈良県立医科大学 輸血部 技局

参加者

東北大学 加齢医学研究所 堀内久徳、斉藤健貴

心臓血管外科 坂爪公、

国立循環器病研究センター 分子病態部 小亀浩市、樋口由佳

奈良県立医科大学 輸血部 松本雅則、早川正樹

討議内容

1) マルチマー解析のアガロースゲルの条件について検討

アガロース 1.2%、グリセロール入りで統一とする

2) VWF バンド読み取り条件について検討

NP の VWF large multimer ratio が 20-30% 範囲になるように設定する。

ただし、何を NP とするかは今後 WHO 標準検体などの価格を調査する

3) 泳動方法、Western blot 方法

各施設で異なるので、あえて統一せずそれぞれのベストコンディションにまかせる

4) 検出一次抗体は、DAKO 社製 VWF ポリクローナル抗体 (HRP 付) で行う。

この抗体の購入は血栓止血学会から得た研究費 (100 万円) を使い奈良医大で一括購入し、それぞれの施設に送付する。

今後、市販の抗体が手に入らないことを考え、独自の抗体の作成し、2-3 種類を mix して使用することも検討していく

5) 今回の決定で泳動条件に関する話し合いは終了とする

6) 小倉記念病院などすでに収集を開始している検体は今後東北で継続保存して。術前後などシリーズが揃ってから解析するので、当面は東北で保管を継続する。